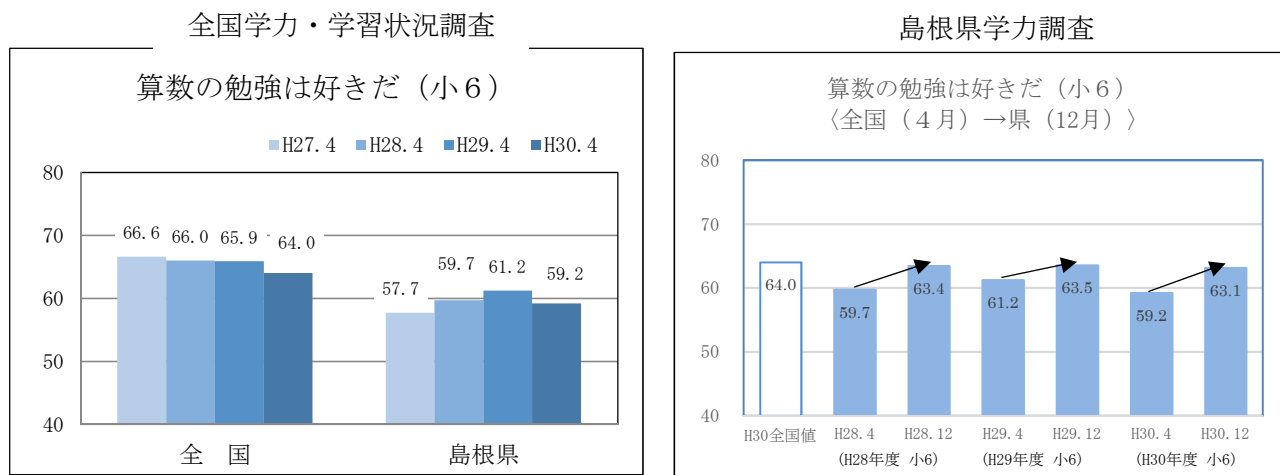


# 算数授業改善推進校事業のまとめ

平成 31 年 3 月 島根県教育庁教育指導課

## 1 成果の概要

<学力調査から>



平成 30 年度 4 月の全国学力・学習状況調査で「算数の勉強は好きだ」(小 6) に肯定的な回答をした児童の割合は 59.2%であり、前年度の 61.2%を下回る結果となったが、全国との差は前年度とほぼ同じであった。

4 月の全国学力・学習状況調査時よりも 12 月の島根県学力調査時の方が肯定的な回答率が上昇するという傾向が過去 3 年間にわたり続いている。平成 30 年度 12 月の島根県学力調査では 63.1%に上昇し、前年度並みになった。

<本事業の取組から>

推進校は授業リーダー教員や研究主任を中心に、「子どもの声でつくる算数授業づくり」を授業改善方針として研究を進めた。その結果として、次のような成果が得られた。

- 子どもたちが授業の中で自分の考えや疑問点を伝え合うことで、学習内容の意味理解に繋げることができ、更に発展した課題にも意欲的に取り組む姿が見られた。
- 誤答を生かしたり説明を全体で作ったりすることを通して、他者の考え方を大切にし、みんなで課題解決しようとする姿勢につながった。
- 教師が肯定的な評価を子どもたちに返すことで、安心して意見が言えるようになり、振り返りの充実につながった。
- 全国学力・学習状況調査や島根県学力調査等で明らかとなった課題を取り上げた公開授業を行い、授業づくりのヒントとなった。(しまねの教育情報Web「EIOS」に学習指導案を掲載)
- 推進校の公開授業には、中学校や高等学校の教員も参加し、様々な観点での研究協議を行うことができた。小中高の系統を意識した授業づくりを行うことで、深い教材研究を行うことができた。
- 管理職や研究主任を中心に全校体制で研究に取り組むことで一人一人の教員の意識が変わり、算数だけでなく他教科へ広げていく取組が見られた。

## 2 課題と今後進めていくこと

平成 30 年度に算数の勉強が好きなお子どを 70%に増やすことを目標に授業改善を行ってきたが、今年度 12 月の島根県学力調査では 63.1%で、目標には届かなかった。

推進校ではこの 3 年間で校内の研究が進み、学校全体で授業改善の取組が意欲的になされた。また、今年度行った全 24 回の公開授業には近隣のみならず県内から多くの参加者があり活発な研究協議が行われたが、「子どもの声でつくる算数授業づくり」が県内の各小学校等へ広く普及するには至らなかった。授業改善の更なる充実と、着実な県内への普及が課題としてあげられる。

これらの成果と課題を踏まえ、次年度からは算数授業改善推進校事業を引き継ぎ、新たな授業改善プロジェクト事業を次のように展開していく。

### (1) 研究推進校の取組について

- 算数及び他の 1 教科等を研究教科とし、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進するための実践モデルを確立する。
- 年 2～3 回の授業や授業研究等の公開を行う。その際、研究対象教科等（算数に加え、他の 1 教科）を必ず 1 回は公開する。
- 全国学力・学習状況調査等で明らかとなった県全体や自校の課題をもとに重点単元を設け、その改善に向けた公開授業を行う。

### (2) 成果の普及について

- 全国学力・学習状況調査等で明らかとなった課題の改善へ向けた授業づくりの提案
- しまねの教育情報 Web「EIOS」の活用
  - ・ 研究推進校の公開授業日程等の案内
  - ・ 研究推進校の取組の紹介
  - ・ 公開授業の学習指導案の紹介
  - ・ 実践事例の紹介 等
- 教育センター主管の小学校算数科教育講座との連携
- 近隣の小学校、中学校及び高等学校との連携